

# 博物館文化講座考

—アンケート調査より—

宮 平 真由美

喜久川 智 子

(沖縄県立博物館)

Evaluation on Audience Research of Public Lecture.

Mayumi MIYAHIRA and Tomoko KIKUGAWA

(Okinawa Prefectural Museum)

## I. はじめに

博物館文化講座は博物館の展示内容と関連する沖縄の自然・歴史・文化などについてわかりやすい内容で、楽しく学習が出来るように企画された教育普及活動の事業である。博物館の展示と関連し、各分野あるいはそれらの分野の総合されたものを内容とし、講演形式、展示の解説、実技指導形式、現地研修形式など、各年齢層が楽しく学び学習できるように企画されている。



文化講座の様子

1974年(昭和49)から実施しており、今年(1998年)で24年目を迎え、平成10年度3月の講座をもって290回を数える。これまでほぼ毎月1回のペースで開催されており、現在では、当博物館の主な事業の一つとなっている。これまで多くの方々が受講されており、多くのご意見やご感想をいただいていた。当館では今後も、より多くの受講者のニーズに応える講座内容にしていきたいと考え、アンケートを実施し、その声を今後の文化講座に反映させていきたい。

## II. 調査結果

アンケート調査は平成9年7月の講座から実施しており、今回は、平成10年12月の講座までの1年半のアンケートの結果内容を少し検討してみたい。

アンケートは、各文化講座に参加した受講者に配布し、表1の用紙に記入してもらい、

1999年 月 日 ( )

### 沖縄県立博物館文化講座参加者アンケート

今後の文化講座活動の参考にしていきたいと思っておりますので、皆さんの“声”を聴かせて下さい。

※当てはまる事柄の番号に○をつけて下さい

在住	性別	年 齢				職 業			
県外	男性	1.10代	2.20代	3.30代	4.40代	1.会社員	2.自営業	3.公務員	4.主婦
県内	女性	5.50代	6.60代	7.70代以上		5.学生(小・中・高・大・専) 6.その他( )			

#### I. 今日の文化講座は何で知りましたか？

1. テレビ    2. ラジオ    3. 新聞    4. 雑誌(雑誌名) )  
 5. 博物館の看板・チラシ    6. 前回の文化講座に参加    7. その他( ) )

#### II. 文化講座のご利用回数は？

1. 初めて    2. 毎回    3. 1年に 回    4. その他( ) )

#### III. 今日の講座内容について

1. 満足した    2. やや満足    3. 普通    4. つまらなかつた  
 気付いた点があればご記入下さい

#### IV. 関心がある分野は何か？

1. 考古    2. 歴史    3. 自然( )    4. 美術工芸( ) )  
 5. 民俗    6. その他( ) )

・文化講座で聴いてみたい事柄をあげて下さい (複数でも可)

・講演を聴いてみたい講師がいれば、あげて下さい

●差し支えなければ、お名前、ご住所をご記入下さい。

お名前 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました

表1 沖縄県立博物館文化講座参加者アンケート

講座終了後、用意しておいた箱に入れてもらう方法で実施した。

この1年半で16講座を開催し、受講者の総数は1,276人であった。アンケート回収率は34.1%であった。第286回の講座に関しては、アンケート調査をおこなっていないため、数値が得られていない。

回収率は高い割合ではないが、大まかに、受講者の年代、興味を持っている分野、講座の開催を何で知ったのか、講座への参加状況、どのような講座を開いて欲しいのかなどを知ることが出来ると思う。尚、平成9年7月から平成10年12月までの文化講座名、受講者数、及び回収率については、表2を見ていただきたい。

回	期 日	講 座 名	参加者	回収数	回 収 率
272	H 9 . 7 . 19	沖縄島の生い立ち (定員あり)	40	21	52.50%
273	H 9 . 8 . 30	組踊写本の現状と上演	87	33	37.90%
274	H 9 . 9 . 20	近世の学校と試験～科(こう)を中心に～	61	26	42.60%
275	H 9 . 11 . 15	野鳥観察会 (定員あり)	30	15	50.00%
276	H 9 . 12 . 2	遺跡めぐり (定員あり)	45	41	91.10%
277	H 10 . 1 . 17	西南中国の酒と泡盛	70	17	24.20%
278	H 10 . 2 . 21	古人骨は語る～沖縄人のルーツ～	124	30	24.10%
279	H 10 . 3 . 14	収蔵資料解説会～琉球の絵画～	53	6	11.30%
280	H 10 . 4 . 18	ハワイピショップ博物館の活動	32	11	34.30%
281	H 10 . 5 . 16	世界遺産について	72	26	36.10%
282	H 10 . 6 . 20	生物の来た道	63	24	38.00%
283	H 10 . 7 . 18	ペリーの日本遠征～前進基地としての琉球王国～	115	7	6.00%
284	H 10 . 7 . 25	ペリー艦隊が見た琉球王国時代の作物について～あわせて黒船が収集した琉球王国時代の植物の里帰りについて～	130	17	13.00%
285	H 10 . 9 . 19	沖縄の村踊り	80	23	28.70%
286	H 10 . 11 . 17	包むころ ふろしき～特別展・展示解説会～	144	—	—
287	H 10 . 12 . 5	ふろしきの文化	130	30	23.00%
合 計			1276	327	34.10%

表2 平成9年7月～平成10年12月までの博物館文化講座

### 1. 受講者の年齢について

- 1. 10代・・・1%
- 2. 20代・・・15%
- 3. 30代・・・6%
- 4. 40代・・・18%
- 5. 50代・・・24%
- 6. 60代・・・25%
- 7. 70代以上・・・11%

今回のアンケートの集計を見てみると、表3でも分かるように40代～60代が多く、全体の67%を占めている。70代以上の割合も11%を占め、博物館文化講座を生涯学習の一環として利用しているのではないかとと思われる。

20代、30代の受講者は、21%という数字を示しているが、これは、アンケートに協力した人がこの年代が多かったということであって、受講者全体の中では、少ない印象をうける。これは、関心が薄いということと、講座が土曜日の午後開かれるため、仕事を持っている人には参加しづらいということ等もあるだろう。アンケートの回答の中には、土曜日は仕事が入っているため、日曜日に講座を開いて欲しい、という意見もあった。

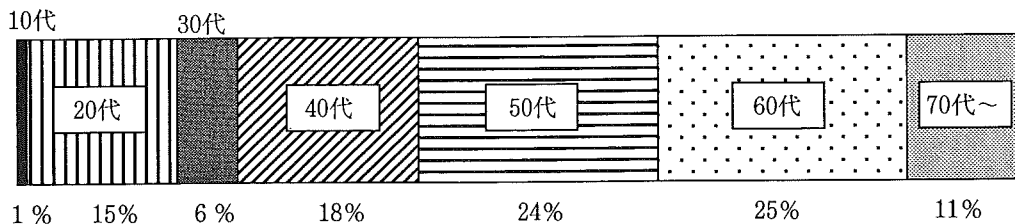


表3 博物館文化講座参加年齢

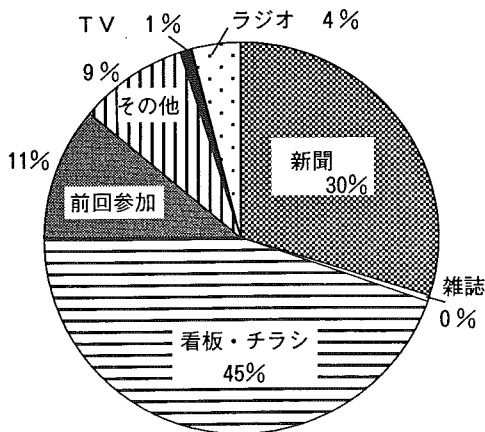


表4 情報入手先

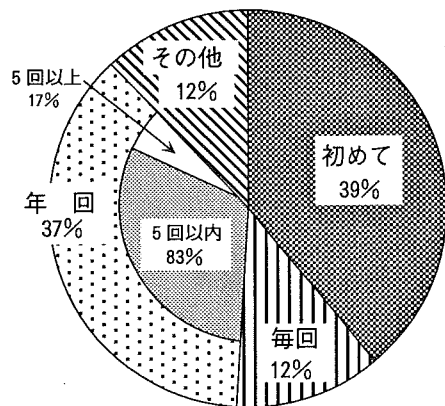


表5 受講回数

## 2. 情報入手先について

1. テレビ・・・1%
2. ラジオ・・・4%
3. 新聞・・・30%
4. 雑誌・・・0%
5. 看板・チラシ・・・45%
6. 前回の講座に参加・・・11%
7. その他・・・9%

文化講座の開催の情報を、何で得たのかを問い、表4に表している。圧倒的に、「看板・チラシ」(45%)で知ったというのが多く、続いて「新聞」(30%)となっている。(表4参照)

看板は、担当者が作製し講座が開催される約3週間前に、博物館の正門に設置している。各報道機関と近隣公民館へは、毎回文書とチラシを送り、その広報に協力していただいている。この2項目で75%という数値が得られたことは、看板やチラシを作る者にとってうれしい結果となり、今後の励みになる。

## 3. 参加回数

1. 初めて・・・39%
2. 毎回・・・12%
3. 1年に 回・・・37%
- (内5回以内・・・83%、5回以上17%)
4. その他・・・12%

受講回数(表5)は、「毎回」、「1年 回」で49%とほとんど半数を占めており、何度も足を運んでいる受講者が多いことが分かる。表4でも、前回の講座に参加して今回の講座を知り、受講することにした方が11%いる。また、「初めて」という方が39%いるわけだが、予想していたよりも高い割合であった。何度も参加している方は、アンケート用紙に記入しなくなることも考えられるため、アンケートの結果として、「初めて参加」の割合が高くなっているのではないかと思われる。しかし、毎回文化講座の開催を初めて知り、それに関心をよせる受講者もいる。

## 4. 内容についての満足度

1. 満足・・・57%
2. やや満足・・・28%
3. 普通・・・14%
4. つまらない・・・1%

講座内容についての満足度を表6で表してみた。「満足」、「やや満足」を合わせると85%という高い数字を示している。受講者の期待に添えた講座が開けたということであり、博物館側からはうれしい結果となっている。

「普通」、「つまらない」と答えた理由として、講座の内容が期待にそぐわなかったり、難しすぎてわかりにくかった等が考えられる。

以下に、「講座を受けて気付いた点」に書かれてある受講者の感想をあげてみた。

- ・①化石採集には最適の場所であった。照間は別として宮城があとどれ位存続するか気になる。②採集前に実物をみせてくれたので探しやすかった。③「生き立ち」についてはもう少し、話してほしいかった。(現地で)(60代女性)
- ・旧コースを設定してゆとりをもった採集時間、地形のおいたちを説明してもらいたかった。(40代男性)
- ・大発見ですばらしい半日でした。

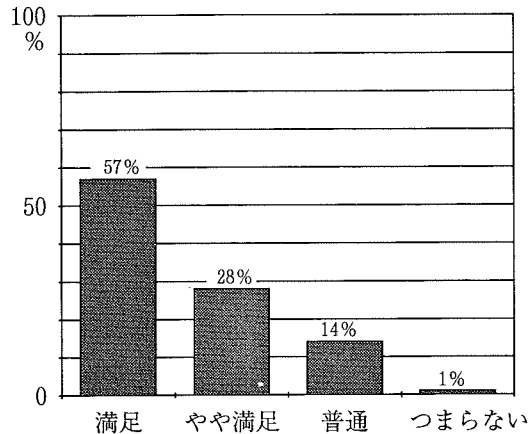


表6 講座内容についての満足度

土曜講座が多いですので、日曜日にも実施して(土曜休み無し)いただきたい。

(50代)

- ・祖父母の住んでいる伊是名で仲村渠真嘉戸が上演されていたのを知っておどろいた。いろいろなところで活発にやられているようなのですごいと思った。(20代女性)
- ・折角の組踊の講座だったので、広く情報を流して多くの人に集まって欲しかった。古典舞踊や古典音楽家の実演家が少ないのが残念、不思議である。これらの人々にも集まって貰うことを考えて欲しいと思いました。(50代男性)
- ・組踊を全く知らなかったのですが、写本を集める課程でのエピソード等面白く聞きました。VTRを観て、なんて優雅なミュージカルだろうと感動しました。琉球文化の奥行きの深さに触れた思いです。ありがとうございました。(40代女性)
- ・ちょっとした机のようなものが肘掛けのところにもついていればたいへんうれしいです。(20代男性)
- ・同じテーマで4~5回に分けてもっとくわしく講座してくれたら有難い。(60代男性)
- ・質問したいことはたくさんあるので(他の参加者の方も同様だと思う)、答えてくれる講師、あるいはアシスタントの方がもっと居て欲しいです。(20代女性)
- ・時間が短いので、朝からやってほしい。(50代男性)
- ・「貝塚」と云う場所を初めて見学しました。単に貝塚と云うだけでなく、色々な方面(学問)につながってゆくことがわかりました。(60代女性)
- ・“泡盛ロマン”は読んだが多少不可快な点があったので講座を受講した後あらためて読んでみようと思った。(30代男性)
- ・沖縄の人の成り立ちが、すべて、早く明らかになるようご研究して下さい。ありがとうございました。(県内60代男性)

- ・館内のものをもっと見たかった。(50代)
- ・博物館ボランティア養成講座のようだった。つまり、文化講座にはならなかった。もっと展示内容に触れて欲しかった。時間配分に工夫を。(50代男性)
- ・やや難しく、話が単調な気がしました。内容が高級でした。理解できる力をつけて来たいと思います。
- ・写真やスライドがあれば、もっと満足できたと思います。(20代女性)
- ・資料があったので、講師講演内容はよく分かりました。(50代女性)
- ・沖縄にすばらしい伝統文化(芸能)が現存していることを知り、感銘しました。  
(60代女性)
- ・現地で見学したい。1泊してもよい。(70代男性)
- ・村に伝わる伝統踊りは、それなりに貴重であり、先生の話に満足した。(60代男性)
- ・楽しくて為になった。(60代男性)
- ・包みの意味が分かりました。折りにふれ包みの心を…。(50代女性)

## 5. 関心のある分野

現在、興味を持っている分野を複数回答で答えてもらった。年齢層によって、関心のある分野が異なるかどうかをみるために、年齢層別に表7に示した。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無記入	合計
考古	1	21	6	22	18	16	10	4	98
歴史		14	10	33	43	51	28	9	188
自然	1	23	6	20	26	22	5	2	105
美術工芸		7	6	15	18	14	2	5	67
民俗		17	7	27	26	21	15	3	116
その他		4		6	3	4	1	1	19
合計	2	86	35	123	134	128	61	24	593

表7 関心を持った各分野の年代別一覧

全体的にみると、「歴史」が一番の人气で、188 (31.7%) を示し、「民俗」116 (19.6%)、「自然」105 (17.7%) と続く。20代では「自然」が一番高い数値を示しているが、その他の年齢層では、「歴史」が最も高い値を示した。

「自然」と「美術工芸」は、特にどの分野かを記入できる欄を設けたが、どちらも沖縄独特のものを挙げている場合が多い。「自然」では沖縄の動植物に関する事、「美術工芸」では陶磁器や書、染織などが、多くあげられている。

「その他」の項目に、自由に記入してもらったものを見ると、文学や芸能についての講座を望む声が多い。これは、組踊や村踊り関係の講座を行った際に、沖縄の伝統芸能に興味を持っている方が受講していることの表れだと思われる。

## 6. 文化講座で聴いてみたい事柄・講師について

自由に記入してもらう方法をとったが、どの分野もかなり熱心な思い入れがあることが伺える。やはり、それぞれの講座に関連した分野が多く記入されており、一つ一つの事象について詳しい情報を持っていて、聴いてみたい講師名もその道の専門家ばかりであった。

各分野ごとに、特に要望が多かったものを挙げてみたい。

「考古」では、グスクについてが多く、港川人について、海底遺跡について等も挙げられた。「歴史」は、中国との関係や琉球王朝時代についての要望が最も多く、戦後史を挙げた方もいた。「自然」は、沖縄の動植物についての現地研修を望む声が多かった。「美術工芸」は、染織と焼物について、「民俗」は、沖縄の食文化、風水についてがそれぞれ多く挙げられた。

以下、主な意見を列挙してみたい。

- ・港川人の再調査について。(50代男性)
- ・沖縄の海底遺跡について、インカ文明について、ケルト文化について。(20代女性)
- ・グスクの成立、分布、歴史など。(60代男性)
- ・沖縄の戦後史(占領時も含めて)。(40代)
- ・朝貢品からみた中琉貿易、沖縄の馬や豚はいつ頃どこから琉球に入ったか。  
(50代男性)
- ・首里尚家(中城御殿)について。(50代男性)
- ・王朝時代の首里城内での生活について。首里城周辺での御願みについて。(60代男性)
- ・旧王府の機構について。(70代以上男性)
- ・首里における武家、町人等の生活(歴史を追って)様式。(70代以上男性)
- ・ペリーの遠征の時の通訳者(板良敷)のことが聞きたい。通訳者から見たペリーの事も聞きたい。(50代女性)
- ・ペリー来島の時の沖縄実態をもっと詳しく知りたい。(50代女性)
- ・終戦直後の沖縄の教育事情(学校はどうか。教師はどうか。教科書はどうか。本土の戦後教育は沖縄にどのように伝わったか)。(50代男性)
- ・天体観測など野外(フィールド)に出て開かれる講座は楽しそうなので受講してみたいです。(20代男性)



- ・やんばるの野鳥観察。やんばるの植物観察。(50代男性)
- ・琉球方言のルーツと九州方言との関係。(40代)
- ・王府時代の漆器制作について。焼き物、窯の発掘調査について。(30代)
- ・紅型の歴史と作り方、これからの発展性。(40代女性)
- ・沖縄の染め、織りに影響を与えた世界の染織の比較。(30代女性)
- ・前回も聴きましたがユタの話。オモロ。(50代女性)
- ・風水についての講座をお願いします。(60代男性)
- ・琉球舞踊の歴史(体系、種類など)、エイサーの歴史、変遷について。(60代男性)
- ・石獅子及び獅子舞について。(70代以上男性)
- ・沖縄の食文化等。(60代主婦)
- ・私立博物館(例えば貝類・電気)のおもしろ話。(40代女性)
- ・このような講座があることを知ったのも初めての事ですので、聴いてみたい講座とか、講師名などについては今回は答えることが出来ません。次回に答えたいと思います。  
(50代女性)
- ・特に何に関心があるというのではなく、何でも勉強したい。(70代)

### Ⅲ. ま と め

今回、アンケートを実施するまでは、受講者の年齢層は、ある程度予想はできたものの、講座内容の満足度の集計は、予想がつきにくく不安でもあった。しかし、アンケート回収率が34.1%という低い数字ではあったが、その中でも満足いく内容であったかどうか、どういう講座を受けたいのか等を具体的に知ることが出来、ある程度の成果は得られたと思われる。

毎回、その日の受講者数を気にしながら、レジュメ作りをしているが、テーマによって、受講者数に大きな変化がある。こちらの子予想通り、また希望通りいかないのが事実で、あわててレジュメを追加する事も度々ある。定員のない、講演形式の講座では、やはり、歴史に関する講座の人気の高いが、偏った講座を開くことを避け、毎年、講座を企画する際に、各分野が均等になるように配慮している。

アンケートから、色々な意見を聞くことが出来、今後どう生かしていくべきかと考えさせられた面もあった。例えば、講座を日曜日に開催する、野外観察等、講座内容によっては、時間を延長する、講演形式だけでなく、体験的、実技的なやり方を増やすといったことである。

また、アンケート用紙に「感想」の欄を設けた方が更に色々な意見が聞けるということもあり、今後アンケート用紙の改良も必要ではないかと思われる。

博物館文化講座も徐々に県民に浸透し、毎回足を運ぶ方も増えてきてはいるが、まだまだ広報不足の感は否めない。アンケート回答の中に「博物館でこういう講座などが行われていることを初めて知った」また「広報に力を入れて欲しい」という意見もあり、今後どのように文化講座をアピールしていくかという課題もある。

アンケートの「声」を全て実現させていくのは、諸事情により困難だが、少しずつでも反映させていきたい。博物館としても、これからも楽しく学べて、興味深い講座を開くよう努め、多くの方に講座に参加して頂きたい。